

# 目次

## 概要

### [コア ファイルを集めるステップ](#)

## 概要

この資料にをチェックし FirePOWER アプライアンスからコア ファイルを集める方法を記述されています。 FirePOWER アプライアンスのプロセスが重要な問題に直面するとき、プロセスの実行メモリのダンプするはコア ファイルとして保存することができます。 失敗の根本的な原因を判別するために、Cisco テクニカル サポートはコア ファイルを請求するかもしれません。

## コア ファイルを集めるステップ

1. セキュア シェル ( SSH ) とアプライアンスの CLI に接続して下さい。
2. ルート ユーザはなりません:admin@FirePOWER~\$ `sudo su -`アプライアンスが 7000 または 7000 シリーズ FirePOWER デバイス、ASA SFR モジュール、または仮想 な アプライアンス、CLI に行くために **専門家**を入力して下さい:> `expert`  
admin@FirePOWER~\$
3. コア ファイルが取付けられる `/var/common` フォルダに行ってください。  
root@FirePOWER:/var/home/admin~# `cd /var/common`
4. ファイルがあるようにフォルダを確認して下さい。 この例は 1 つのコア ファイルを表示したものです。 ただし、複数のコア ファイルを見つけるかもしれません。  
root@FirePOWER:/var/common~# `ls -ralsh | grep core`  
268K -rw----- 1 root admin 740K Sep 10 06:53 core.2179
5. ファイルを圧縮して下さい。 コア ファイルに非常に大きい可能性があります。 コア ファイルの内部 構造が原因で、gzip 圧縮は正常にファイルサイズをかなりもっと小さくすることができます。 root@FirePOWER:/var/common~# `gzip core.2179`圧縮されている前にコア ファイルがアーカイブされれば、gzip アルゴリズムはファイルをその位圧縮できません。 アーカイブされる前にファイルが圧縮されていない場合、デバイスのディスク 利用しきい値が超過するかもしれないし、排出からのディスクスペースを防ぐためにコア ファイルが自動的に削除したことは可能性のあるです。
6. コア ファイルが gzipped 後、ファイル転送の便宜上 `.tar` アーカイブと一緒に保存することができます。 root@FirePOWER:/var/common~# `tar cvf core_file.gz.tar core.2179.gz` この時点で、`core_file.gz.tar` 呼ばれるファイルがあるはずでです。 Cisco テクニカル サポートが複数のコア ファイルを請求する場合、それから各々の追加ファイルのための前手順を繰り返すことができます。 これらのファイル固有の名前をつけることを確かめて下さい。
7. このファイルを Secure Copy ( SCP ) の FirePOWER アプライアンスから安全にコピーするために、これらのコマンドを入力して下さい:root@FirePOWER:/var/common~# `exit`  
admin@FirePOWER:/var/common~\$ `exit`  
  
>`system file secure-copy hostname username destination_directory core_file.gz.tar` 『Enter』 を押した後、リモート システムへのパスワードのためにプロンプト表示されます。 ファイルはネットワークを渡ってコピーされます。

**注:** この例では、**ホスト名**はターゲット リモートホストの名前か IP アドレスを示します、**ユーザ名**はリモートホストのユーザの名前を規定し、**destination\_directory** リモートホスト

の宛先パスを規定します。